

YOTSUBA の 風

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 学校通信 第1号 平成30年4月10日発行



平成30年度 入学式「式 辞」

四ツ葉学園中等教育学校 校長 三村 国宏

花散らしの風、青々とした木々の芽吹き、温かな光、爽やかで心地よい季節となりました。

春は出会い、そして始まりの季節、新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、保護者の皆様にもお祝い申し上げます。

本校は、平成二十一年度に、全国で初となる市立の中等教育学校として、市民の皆様の期待のもと開校いたしました。以来、生徒の夢を叶える学校として、特色ある質の高い教育を展開し、全国に誇れる学校づくりに邁進してまいりました。



本校は、今年度をもって、十周年を迎えます。

この記念すべき年に入学した、新入生の皆さんと、共に、学びの道を歩むことができることは、学校長として、何よりの喜びでございます。私たち教職員一同、皆さんを心から歓迎いたします。

さて、本校の教育理念は、「未来に、そして世界にはばたく 高い知性と豊かな道徳性をもった教養人の育成」です。生徒の持つよきや能力を最大限に広げ、一人一人が自分の人生に充実感を持ち、将来社会に貢献できるたくましい大人になってほしいと願っています。その基礎を養い未来への道筋をつけるのが本校の役割であり、全力で皆さんの教育に当たります。そこで、本校で学ぶに当たり、新入生の皆さんと、保護者の皆様には、次のような心構えをもってほしいと思います。

アメリカ第三十五代大統領ケネディの有名な演説に、

「国家が諸君のために、何をなし得るかを問うのではなく、諸君が国家のために何をなしうるか考えよ。」という言葉があります。

新入生の皆さん、学校が皆さんのために、何をしてくれるかを問うのではなく、皆さんが学校のために、あるいは学校において、何ができるのかを考えてください。

自分の夢は自分で叶える。自分たちの学校は、自分たちでつくる。主体的に学び、生活する強い決意をもってください。

保護者の皆様には、学校が保護者の皆様に、あるいは皆様の子どもに、何をしてくれるかを問うのではなく、保護者の皆様が子どものために、あるいは学校と協力して何ができるかを考えてください。人生の先輩として自らの生き方を示し、我が子の自立を後押し、共に未来を創っていただきたいと思っております。思春期から青年期を迎える、この中等教育6年間は、自我が確立し、物事を自分で考え、自分の生き方を方向づける、言わば人格完成と将来の進路への礎をつくる大切な6年間です。ここで、生徒、保護者、教師が、同じ方向を向いて、それぞれが責任のある教育の主体者として力を合わせれば、すばらしい教育が展開できます。6年後の卒業時に、「四ツ葉で学んで本当によかった」と互いに言い合えるよう、共に歩いて行こうではありませんか。

結びになりましたが、本日も多用の中、ご列席いただきました、徳江教育長様を始めとする、伊勢崎市教育委員会の皆様や、学校評議員の皆様、そして本校PTA本部役員の皆様など、たくさんのご来賓の皆様に、改めましてお礼を申し上げるとともに、本校第十期生として、新たな門出を果たした、新入生に対しまして、これからも温かいまなごしをもって、ご支援をいただきたいと存じます。

以上をもちまして、私の式辞といたします。

《平成30年度 着任式》

教職員等の異動 ～よろしくお願ひします～

新年度のこの季節は、出会いの時期でもあります。平成30年度、新たに17人の教職員の方々が四ツ葉学園に赴任されました。昨年度末には第四期生を送り出すことができ、四ツ葉学園としての伝統を着実に築きつつある中、今年度は、創立10周年を迎える節目の一年となります。今後につきましても、教職員一丸となり、より一層の発展を目指し、生徒の「進路実現」と「人間力の育成」に全力を注いで参ります。



以下に転入された教職員を紹介いたします。

【転入された先生】() 内は前任校等

1	校 長	三村 国宏	(伊勢崎市教育委員会学校教育課 [課長])
2	国 語	中村 裕梨	(育休補助)
3	地理歴史	川島 三怜	(群馬県立西邑楽高等学校 [教諭])
4	数 学	齊藤 義則	(群馬県立富岡高等学校 [教諭])
5	数 学	岡田 整	(産休補助)
6	理 科	木谷 英之	(群馬県立渋川高等学校 [教諭])
7	理 科	福島正太郎	(伊勢崎市立第二中学校 [教諭])
8	理 科	渋谷 祐介	(群馬県立高崎工業高等学校 [教諭])
9	美 術	豊田玉之介	(群馬県立渋川特別支援学校 [教諭])
10	保健体育	千波 将冴	(群馬県立沼田女子高等学校 [教諭])
11	英 語	中山 仁	(伊勢崎市立第四中学校 [教諭])
12	英 語	竹内 博利	(伊勢崎市立赤堀小学校 [教諭])
13	英 語	富田 美穂	(群馬県立桐生女子高等学校 [教諭])
14	養護教諭	大島奈都美	(群馬県立高崎特別支援学校 [養護教諭])

【事務の先生】

15	事務主事	齋藤 英	(伊勢崎市立境北中学校 [事務主事])
16	労務技師	佐藤 富雄	(伊勢崎市図書館課)

【相談員の先生】

17	教育相談	小田 典子	(伊勢崎市立第二中学校 [教諭])
----	------	-------	-------------------

《一学期始業式》



着任式に引き続き、平成30年度一学期始業式が行われました。再任の三村国宏校長先生から、「今年は開校10周年を迎える区切りの年、よりステップアップした新しい四ツ葉学園を共に創り上げていこう」、というメッセージから始まりました。そして、「未来に、そして世界にはばたく高い知性と豊かな道徳性を身に付けた教養人の育成」という本校の教育理念のもと、生徒の持つ良さや能力を広げ、一人一人が自分の人生に充実感を持ち、将来社会に貢献できるたくましい人間力を持った大人になってほしいという

強い願いから、今年度の大きな柱は、将来の夢や希望を実現するための「進路実現」と、思いやりや優しさ、感謝の気持ちや新しいことに果敢に挑戦したり、困難なことに立ち向かったりする強い心を育てる「人間力の育成」という式辞がありました。本校職員一同、この二つの柱を実現するべく、全力で教育活動に力を注ぐつもりでございます。本年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。